



福島県立安積中学校・高等学校

安積の精神

- ・開拓者精神
- ・質実剛健
- ・文武両道

教育目標

全人教育を目指し、知・徳・体を錬磨し、次代を担い、人類に貢献できる、志高く有為な人材を育成する。

教育方針

1. 個性を伸長する。
2. 知性と情操と実践力を養う。
3. 自主自律の精神を培う。
4. 真理と正義を愛する、質実にして真摯な人物を育成する。

高い志を掲げ、知性を磨き続ける

福島県立安積中学校・高等学校長 森下 陽一郎

本校は、開拓者精神のもと、高い志をもち、文武両道を貫きながら、自分の夢の実現に向けて努力を続ける生徒の育成に努めます。そのため、教職員が一丸となって、生徒一人一人の高い志を育み、叶える学校を目指します。

令和7年度は次の目標を掲げ、その実現に向けて努力してまいります。

- 自主自律の精神を涵養し、自ら学び深く考える態度と豊かな感性を育てます。
- 授業の質を高め、授業第一主義で、確かな学力と高い知性をもつ生徒を育てます。
- 生徒一人一人の能力を伸ばし、より質の高い進路目標の実現を図ります。
- 時間を有効に活用し、家庭学習や部活動に積極的に取り組む生徒を育てます。
- SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の教育プログラムを推進します。
- 「未来を描き、未来を創る開拓者」のスローガンの下、中高一貫教育の確立に努めます。
- 教職員自ら、高いコンプライアンス意識の保持に努めます。

進路の実現

- ①「安積の精神」の実践
- ②進路意識の高揚
- ③高い学力の定着

- ・「安積の精神」を実践することにより伝統校としての誇りを受け継ぎ、生徒の自尊心や向上心を高め、授業や部活動に対する意欲を向上させ、高い志を持ち続ける生徒を育成します。
- ・高校ではSSH事業の下、STEAM教育を推進し、難関大学の総合型選抜等に対応できる力を養います。
- ・家庭学習と自学自習の習慣を身につけさせ、目標を立て自ら学びに向かおうとする姿勢を育成します。
- ・授業第一主義の下、「深掘り」や「アクティブ・ラーニング」による授業により、生徒の主体的・協働的な学びを育むとともに、校内研修をとおして教職員の力量を高め、生徒のニーズに適合した質の高い授業を行います。
- ・中学校では各種講演会や探究活動等を実施し、将来の進路選択の幅を広げるとともに、職業観を育成します。
- ・高校では安積セミナー、大学見学会、各種講演会等の実施や探究活動の充実を図り、進路意識の向上に努めます。
- ・部活動休養日の計画的な確保及び部活動終了時刻（18：30）の徹底や土曜開放の実施等により、家庭学習の時間を確保しつつ部活動の更なる活性化を図り、「文武両道」の実践を行います。
- ・定期的な個人面談や生活・学習の実態調査を行い、教育相談やカウンセリングを取り入れながら、生徒一人一人の進路実現を計画的に支援します。

教育環境の整備

- ①自主自律の精神の涵養
- ②美化意識の高揚
- ③保護者及び後援組織との連携

- ・学校行事や生徒会活動、部活動等の集団活動を通して生徒の豊かな人間性を育成し、自ら学び深く考える態度を身につけた、社会や世界で活躍できる有為な人材を養成します。
- ・学習指導、進学指導を牽引するリーダー校として、次代を担い人類に貢献できる有為な人材を育成します。
- ・「学びの変革」の推進により個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びを提供します。
- ・面談等を通して生徒一人一人の理解に努め、進路指導や心の安定化を図り、スクールカウンセラーと連携しながら、悩みや不安を抱えた生徒の心に寄り添った指導・支援を行います。
- ・学校ホームページや新聞の発行などを通して積極的な広報に努め、保護者や地域社会との連携を深めます。
- ・PTA、安積桑野会（同窓会）、桜桑会（後援会）と連携しながら、生徒の教育活動の充実を図ります。
- ・中高共に、中学棟を効果的かつ効率的に活用できるよう整備するとともに、使用の在り方について検証します。
- ・伝統校「安積」の教職員であるという誇りと自覚を持ち、自らの専門性と人間性を高め、地域社会から信頼される教師集団を形成します。
- ・地域とともにある学校の実現に向けて、「福島ならではの」教育の充実を図り、SSH事業において産学官連携を推進するとともに地元経済界からの支援による事業拡大を図ります。